

2021年4月6日

CPC社（イタリア）における炭素繊維関連設備投資について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）自動車部品製造販売会社である、関係会社の C.P.C. SRL（本社：イタリア・モデナ市、以下「CPC社」）において、世界最大級となる 5,000 トン容量大型プレス成形機の増設を含む設備投資を決定いたしましたので、お知らせいたします。当社のグループ会社である Mitsubishi Chemical Advanced Materials AG（本社：スイス・チューリッヒ、CEO：Michael Koch）が CPC 社に投資を行い、2023 年中の設備稼働を目指しております。

航空機や自動車などのモビリティ用途では、CASE 対応・環境規制等を背景に従来にも増して機体/車体の軽量化への要求が高まっており、軽さと強度を兼ね備える CFRP の利用が加速すると見込まれています。また、自動運転車や空飛ぶ車などの次世代モビリティの分野では、従来の思想にとらわれない新しいコンセプトによる車体設計が進められており、軽量かつ成形性に優れた CFRP への注目がますます高まる傾向にあります。

CFRP の成形・加工・塗装・組立てにわたる一貫生産能力を有する CPC 社は、設計・シミュレーション技術を活用した部品・車両の軽量化ノウハウを合わせ持ち、主に高級自動車向けの CFRP 成型品メーカーとして事業を拡大してきました。

当社グループは、ドイツのプリプレグ^{※1}メーカー c-m-p 社や炭素繊維リサイクル企業 CarboNXT 社の買収、CPC 社隣接地への CF-SMC (Sheet Molding Compound)^{※2} 製造設備の建設など、自動車技術で最先端を行く欧州において、サステイナビリティにも配慮した材料のサプライチェーン確立を進めております。

今般の投資では、大型プレス成形機を増強し、複雑形状のシャーシーなど成形の難しい大型構造体の成形能力を約 3 倍に引き上げるほか、最新鋭の CFRP 加工機、自動塗装ラインを有する塗装工場や組立てラインの増強を行います。これにより欧州におけるサプライチェーンを強化し、電気自動車や次世代モビリティ用途でさらに高まる CFRP 製品に対する需要に対応していきます。

当社グループは今後も、日・米・欧の炭素繊維・中間材の材料開発・生産拠点と、高い設計提案力と成型加工能力を有する CPC 社など、グループの総合力を発揮して技術革新の著しいモビリティ分野に対して最適なソリューションをタイムリーに提供すべく、積極的に事業を展開してまいります。

※1 樹脂を含浸させたシート状の炭素繊維中間基材

※2 長さ数センチメートルにカットした炭素繊維を樹脂中に分散させたシート状の CFRP 中間基材。

以上



【CPC 社 CFRP 成形用プレス機】

お問合せ先
三菱ケミカル株式会社 広報本部
TEL : 03-6748-7161